

# 『みやまコンセールPresents -みやまおとどけコンサート』風景

令和2年11月5日

みやまコンセールPresentsと題して、ピアノ、琴、フルート、ヴァイオリン、コントラバスそれぞれの演奏家が来校され、心に響く素晴らしい演奏をしていただきました。全校生徒が、生の芸術（歌声や音色）に触れることで感動を共有し、豊かな感性を育むことができました。

## 【鑑賞風景】



## 【生徒の感想】

私が一番印象に残っている曲は「情熱大陸」です。私は吹奏楽部に入っています。卒部してしまった三年生の先輩が、定期演奏会で「情熱大陸」を演奏していたので、とても思い出深い曲です。その曲が聴けてとても嬉しかったです。ソプラノも「パーネル茂谷優子」さんの歌声にとっても感動しました。私は、生でソプラノを聴いたのは初めてだったので驚きました。高音なのにすごく大きな声が出ていて圧倒されました。

最初の「小さな世界」では、ヴァイオリン、ピアノ、フルート、コントラバスの音色が一体となって響いて、とてもきれいでした。ソプラノの茂谷さんが歌い始めたときは、圧倒されました。他にも私の好きな「子犬のワルツ」や「情熱大陸」などの曲も素敵で、琴とフルート、琴とコントラバス、といった組み合わせもきれいでした。司会の西村さんが、「メリーさんの羊」をアレンジのような感じで弾いたとき、弾き方一つでこんなにも曲って変わるんだとびっくりしました。最後の「ジブリメドレー」も、つつい体揺らしながらリズムに乗って聴いていました。このコンサートは最高の思い出になりました。

私が一番心に残った曲は、歌劇「こうもり」より「侯爵様、あなたのようなお方は」です。なぜなら、歌の途中で笑うシーンがすごく本当に笑っているように聞こえてきて、びっくりしたからです。どれもすごくいい演奏でした。コントラバスの重厚感や、琴のはかなげな感じがすごくうっとりしました。西村さんの「メリーさんの羊アナザーストーリー」も、イメージがすごく湧いてきてわくわくする曲でした。一曲一曲の迫力がすごくて、鳥肌が立ちました。七種類の音や声が重なり合って、すごく心に響いて残るいい思い出になりました。